

美桑が丘

校訓『創造敬愛』

下川町立下川中学校
令和7年度学校だより
第3号 R7. 6. 30発行

部活動によって得るものとは

校長 越 湖 憲 治

今年も中体連大会が行われる暑い季節となりました。学校では、壮行会を実施して子どもたちの活躍を後押しします。その壮行会の折に、私は選手を前に「磨いてきた心技体の全てを発揮して目の前の一つ一つの試合を全力でやりぬいてきてください。特に下川中として、“心”を表現してきてほしいと思っています。…」と話しました。

部活動の意義は、体力や技術の向上以外に、異学年との交流の中で、生徒同士や生徒と教師等との豊かな人間関係の構築を図ったり、意欲の向上や自己肯定感、責任感等を身に付けたりする多様な学びの場であるとされています。それは、やらされている活動ではなく、自らが選択した活動を主体的に取り組むからこそ豊かな心の成長がより得られるのだと思っています。

私が先輩先生と部活動を指導していた時の中体連大会前日ミーティングで的一幕を紹介します。キャプテンが「明日からの中体連大会みんなで優勝を目指して頑張っていきたい。」と全体に声を掛け、さらに1年生部員に「野球は何人ですするスポーツですか」と問います。聞かれた1年生は「9人です」と答えます。すかさず、今度は違う1年生に「野球は何人ですするスポーツですか」ともう一度問い直します。「相手チームもいないと試合はできないので18人です」と答えると、さらに「野球は何人ですするスポーツですか」と問います。聞かれた1年生は少し考え「審判も必要なので22人です」と答えました。2・3年生部員は微笑みを浮かべながら「チームで戦うので、ここにいる全員です」「野球をするために、自分たちを支えてくれた親もです」…と続きます。そして、最後にもう一度、キャプテンが「たくさんの人たちのおかげで明日、試合ができます」「試合に出る出ないにかかわらず、みんなで声を出してボールを追いかけましょう」「そして、試合をさせていただくことに感謝し、全員で最後まで全力で頑張りましょう」と締めくくりました。恒例のやり取りなのかもしれませんが、当時の私には新鮮で、子どもたちの部活動に取り組む気持ち、心の成長を感じる出来事でした。

先日、部活動地域移行に向けて昨年度実施したアンケート結果が届きました。推察すると、子どもたちの求めるところは、「勝ち負けにこだわることなく、気軽に楽しみたい」というスタンスに読み取れました。時代の流れに合わせて部活動も転換の時期を迎え、それに合わせて大人の考え方もアップデートしなければならないのは当然です。ただ、中体連大会等で見る子どもたちの姿に嘘はなく、何ものにもかえがたい素晴らしいものに間違いはないと思い返しています。



6月19日(木)に行った中体連壮行会の様子

北部地区中体連大会

■中体連陸上大会

6月5日(木)に中体連陸上大会が行われました。気温が低く悪天候の中、選手の皆さんはベストを尽くしました。その結果が右の表の通りです。

なお、全道大会出場権を獲得した選手は、7月22日(火)～24日(木)に日鋼室蘭スポーツパークで開催される全道大会に出場します。皆さんの健闘を心から応援しています。



■中体連地区大会

6月20日(金)・21日(土)に中体連地区大会が行われました。出場した選手たちは、これまで積み重ねてきた努力の成果を発揮すべく、全力で臨んでいました。特に3年生にとっては最後の公式戦であり、勝敗の結果だけでなく、試合に臨む姿勢、後輩たちへの気配り、最後まで諦めないプレーが見られました。

7月4日(金)から行われる上川代表決定戦に出場する皆さんは、万全を期してベストを尽くすことを願っています。

ソフトテニス部



野球部



サッカー

中体連陸上大会結果

3年	山中	琉翔	2・3年男子 100m走	第3位
3年	小澤	虹翔	2・3年男子 100m走	第3位
3年	中村	山太	2・3年男子 400m走	第4位
1年	渡邊	潤	1年男子 1500m走	第3位
3年	中村	山太	2・3年男子 1500m走	第3位
3年	松田	大聖	共通男子走り幅跳び	第4位
3年	立花	日菜梨	共通女子走り高跳び	第1位 (全道大会出場権獲得)
3年	山中	琉翔	共通男子4×100mリレー	第1位 (全道大会出場権獲得)
3年	小澤	虹翔		
3年	中村	山太		
3年	松田	大聖		

中体連地区大会結果

■野球(士別・士別南・智恵文・風連中と合同チーム)

準決勝 対 剣淵・和寒中 9対1

決勝戦 対 KAMIKAWA・士別サライブレイズユース 13対1

※優勝(上川代表決定戦進出)

■ソフトテニス

○男子団体 準優勝(上川代表決定戦進出)

○女子団体 ベスト4

○男子個人

大岡・河野ペア 2回戦惜敗

佐藤侑・蓑島ペア 2回戦惜敗

小林・丹野ペア 1回戦惜敗

菅野・勝元ペア 1回戦惜敗

○女子個人

竹本・板垣ペア 3回戦惜敗

黒川・大池ペア 3回戦惜敗

菅野・野崎ペア 3回戦惜敗

津志田・渡辺ペア 優勝(上川代表決定戦進出)

■サッカー(上川代表決定戦トーナメント)

○クラブチーム名寄SC

2回戦惜敗 対 北門中 0-2

○クラブチームSSSC(士別)

2回戦 対 東明中 1-0

3回戦 対 富良野西・富良野東中 2-0

7月4日(金)に準決勝へ(対 広陵中)

■剣道は、上川代表決定戦からの出場となります。

全校生徒の充実した学校生活のために

■いじめアンケート

6月実施の今年度1回目のアンケート結果と学校での対応についてお知らせいたします。

質問	回答結果
Q)4月から今日まで嫌な思いをしたことはありますか。	1名の生徒が「ある」と回答。内容は「無意識と思うが会話中に掌でたたかれる」でした。
Q)嫌な思いをした時、誰に相談しますか。	「家族」「友人」「先生」が多数ですが、誰にも相談しないが5名でした。
Q)友達が嫌な思いをしているのを見たり、聞いたりしたことはありますか。	2名の生徒が「ある」と回答。
Q)「いじめ」は許されないことと思いますか。	「許されない」が大多数でしたが、「よくわからない」は7名でした。

本人が誰かに何かを言われたりされたりして嫌な思いをしている場合には、「いじめ」として対応しています。今回のアンケートで確認された事案について、担任が全生徒と教育相談を行い、事実確認や指導を行い、今後の解決に向けて取り組んでいきます。

■いじめ未然防止運動

右の表は、全校生徒を対象に行った事前アンケート、誰にでもあり得る6つの「いじめの種」となる思考・行動についての分析結果です。下川中学校の傾向として、「怒り・衝動性」の傾向が最も高く、特に「あなたは友人が話している時に、イラっとすることはありますか？」という質問に「はい」と答えた生徒の割合は、48%でした。

この結果を踏まえて、6月10日(火)に全校生徒が参加して、いじめ未然防止集会を行いました。

まず、「いじめ」とは具体的にどのようなことかを確認し、生徒会書記局が2017年4月27日の前期生徒総会にて採択された「下川中学校いじめ撲滅宣言」を提示し、全校生徒で確認しました。次に、事前アンケートのデータをもとに学年ごとのグループに分かれて、今後どのような生活を送るとよいかを全校で交流しました。

【出された意見の一部】

- 相手と周りの人の気持ちを考えて行動する。(1年)
- 人と自分では考えが違うことを理解する。(1年)
- 自分の感情をコントロールする。(2年)
- 高圧的な行動、言動をとらない。(2年)
- いじめを見た場合は、先生や親に報告する。(3年)
- いじめを受けても平気なふりをしない。(3年)

【事前アンケート分析結果】

いじめの種となる思考・行動	傾向のある人の割合
①自己中心的な行動	約22%
②怒り・衝動性	約31%
③自己弁護	約24%
④自惚れ・ひがみ	約17%
⑤諦め	約19%
⑥誤った見解	約27%

『下川中学校いじめ撲滅宣言』

1. 私たちは、思いやりの心を大切にします。
2. 私たちは、人によって様々な考えがあることを理解します。
3. 私たちは、公平に人と接します。
4. 私たちは、相手の気持ちを考えて、発言や行動をします。
5. 私たちは、人の嫌がることを、言わない、しない、書き込みません。

最後に、今回話し合ったことを踏まえて、生徒一人ひとりが学校生活で自分がいじめを生まないためにどのようなことを意識するか宣言カードに記入しました。このカードは、1階ホールに掲示しています。



これからも全校生徒が安心して学校生活を送れるようにするために、相談しやすい環境を整え、継続した見守りを行い、いじめの未然防止や早期発見に努め、素早く対応してまいります。

総合的な学習の時間における森林環境学習

■2年生校外学習

6月2日(月)に2年生は、三津橋農産へ校外学習に行きました。この学習では、製作に必要な木材を選択し、丸太から角材になるまでの様子を観察しました。その際、柂目と板目の違いについての理解を深めました。今回、丸太からカットした角材を使って、2年生は創作物を製作する予定です。



■1年生校外学習

6月10日(火)に1年生は、人工林と天然林を見学、講話を聞いて比較することで、森づくりの多角的な視点を知るために校外学習を行いました。生徒たちは、生えている木の種類、1本の木の値段、木を育てるのにかかるコストなどを比較し、森づくりについての理解を深めました。

人工林見学



下川町役場産業振興課
森林づくり専門員の斎藤丈寛さん

天然林見学



田邊林業
田邊大輔さん

6月23日(月)には、下川町で森林に関わる仕事をしている4名の方に話を聞くため、グループに分かれての校外学習を行いました。インタビューを通して、仕事への思いや林産業と社会とのつながりなどを知る貴重な機会になりました。



渓和森林公園で下川町の
自然・森案内をしている、
のらねこ屋の藤原祐輔さん



りんどう会館で、木の小物製作
をしている臼田健二さん



薪の製造・販売をしている薪屋
とみながの富永紘光さん



建物、家具、フローリングなどに使用
される集成材の加工をする下川フォ
レストファミリーの大岡英則さん

これから1年生は、下川町の林業・林産業から下川町の将来について考え、7月に保護者の皆さんに向けて発表会を実施する予定です。

本校の森林環境学習は、NPO法人森の生活が学校と地域をつなぐ役割を担い、地域の方々の理解と支援によって支えられています。ご協力していただいた皆様、ありがとうございました。

■食育の授業

下川小学校栄養教諭の神谷滯子先生による食育の授業を各学年で行いました。この授業では、以下の内容を目標としています。

【1年生】

早寝・早起き・朝食の大切さを理解し、自分の生活リズムや食生活を見直すこと

【2年生】

カルシウム摂取の重要性を理解し、摂取への意欲を高めること

【3年生】

成長期の身体の特徴と必要な栄養素を理解し、基本的な生活習慣を身に付けようとする



食育の授業を通して、「食」に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付け、心身ともに健康な生活を送る力の育成を図っています。

<今後の予定>

- 7月1日(火) 全校朝会、安全点検日
スクールカウンセラー来校日
- 2日(水) 特別支援小中合同学習
- 3日(木) 中体連上川代表決定戦壮行会
- 4日(金) 中体連上川代表決定戦～5日(土)
- 7日(月) 宿泊研修結団式
- 8日(火) 2年宿泊研修～9日(水)
- 9日(水) 高校説明会
- 10日(木) 2年回復休業
- 14日(月) 職員会議
- 15日(火) スクールカウンセラー来校日
- 16日(水) 参観日
- 22日(火) 中体連全道陸上大会～24日(木)
- 23日(水) 常任委員会
- 24日(木) 1学期終業式
- 25日(金) 夏季休業～8月20日(月)
- 小中一貫教育協議会 諸費納入日
- 夏の二者面談(全学年)
- 28日(月)・29日(火)